

平成 23 年度～27 年度 私立大学戦略的研究基盤形成事業

国民の健康の増進を目指した生物資源の 活用基盤研究拠点の形成

中間報告会

日 時： 2014 年 3 月 5 日（水） 13:30-17:30

場 所： 慶應義塾大学 芝共立キャンパス
1号館マルチメディア講堂

慶應義塾大学大学院 薬学研究科
生物資源研究開発センター

プログラム

- 13:30- 研究計画の紹介 木内 文之 (研究代表者)
- 13:35- 研究成果発表 グループA: 素材開発グループ 座長 木内
1. 生物活性成分の解析並びに天然糖鎖の合成と機能解析
(天然医薬資源学講座 木内 文之、羽田 紀康、成川佑次)
 2. 生物活性を有する希少天然有機化合物の合成
(有機薬化学講座 庄司 満、須貝 威)
 3. 天然物や生体内成分の構造改変による新規抗酸化剤の創成
(医薬品化学講座 増野 匡彦、大江 知之)
- 14:15- 研究成果発表 グループB: 活性評価グループ 座長 服部
1. 生物資源・天然物の生物学的活性評価
(病態生理学講座 服部 豊)
 2. 新たな作用点をもつ認知症治療薬の天然物からの探索
(薬理学講座 奥田 隆志、三澤 日出巳)
 3. 白内障発症予防薬および進行遅延薬の探索
(分子機能生理学講座 岡 美佳子、竹鼻 眞)
 4. 生物資源由来のアンチエイジング(抗加齢)機能成分に関する研究
(創薬物理化学講座 永田 (伊藤) 佳子、金澤 秀子)
- (休憩)
- 15:10- 研究成果発表 グループC: エビデンス創出グループ 座長 田村
1. 心血管病リスクファクターとしてのホモシステイン血中濃度上昇の分子的基盤の構築
(生化学講座 石井 功、笠原 忠)
 2. 食品成分によるステロイド代謝酵素発現の調節と生理機能の解明
(衛生化学講座 田村 悦臣)
 3. トランスポーターによる、エストロゲン様作用物質等の生体内輸送機構の解明
(化学療法学講座 杉本 芳一、野口 耕司)

4. 生理活性天然物の胎盤透過性・代謝活性評価と
その分子メカニズムの解明

(薬剤学講座 登美 斉俊、中島 恵美)

5. Herbal Medicine の一般用医薬品としての承認に必要な
エビデンスの創出に関する研究

(医薬品情報学講座 望月 真弓、橋口 正行)

(休憩)

16:20-

座長 木内

特別講演

「微生物の潜在能力に魅せられて

-生物活性物質の発見，作用機構そして創薬へ-

(北里大学薬学部 微生物薬品製造学研究室 供田 洋 先生)

17:20-

挨拶 増野 匡彦 (慶應義塾大学 常任理事)